



大型総合フォトマスクのパイオニア 株式会社エスケーエレクトロニクス

代表取締役社長 野上良忠
2007年6月2日（土）

本日本話する内容



1. 当社の概要
2. フォトマスクとは
3. フォトマスクとテレビ市場の成長性
4. 当社の強み
5. 当社の成長戦略
6. 今期の業績予想
7. IR活動・利益配分・分割方針
8. 最近話題のニュースについて

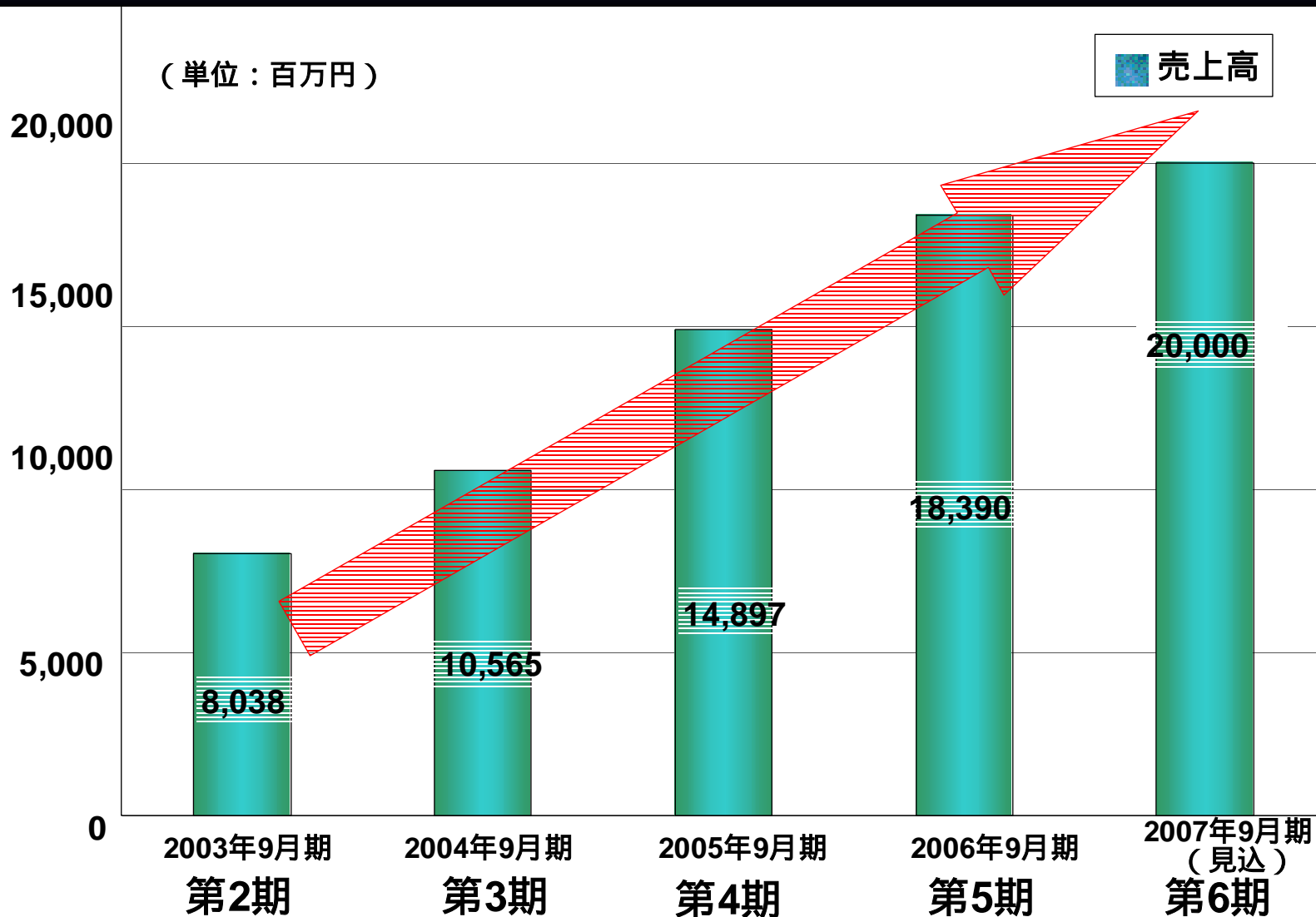
1. 当社の概要

エスケーエレクトロニクスの概要



設立	: 2001年10月1日
本社所在地	: 京都市上京区
事業内容	: フォトマスク製造販売/LSI検証システム製造販売
資本金	: 37億円
従業員数	: 233名(2007年3月末)
連結海外子会社	: 頂正科技(台湾:台南のサイエンスパーク) SKE KOREA(韓国:天安市)
上場取引所	: JASDAQ (証券コード 6677) (2003年9月上場、2004年8月 <u>J-Stock銘柄に選定</u>)
決算期	: 9月30日
売買単位	: 1株

連結売上高推移

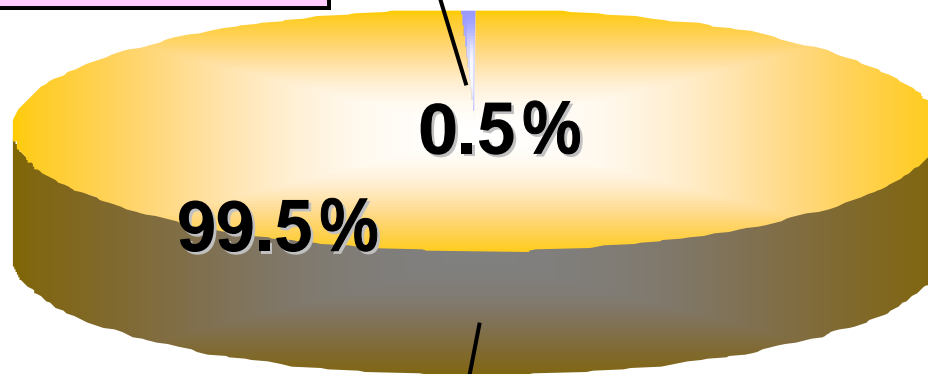


当社の事業構成



回路検証支援ツール事業

LSI開発支援へ転換
新事業の柱として成長中

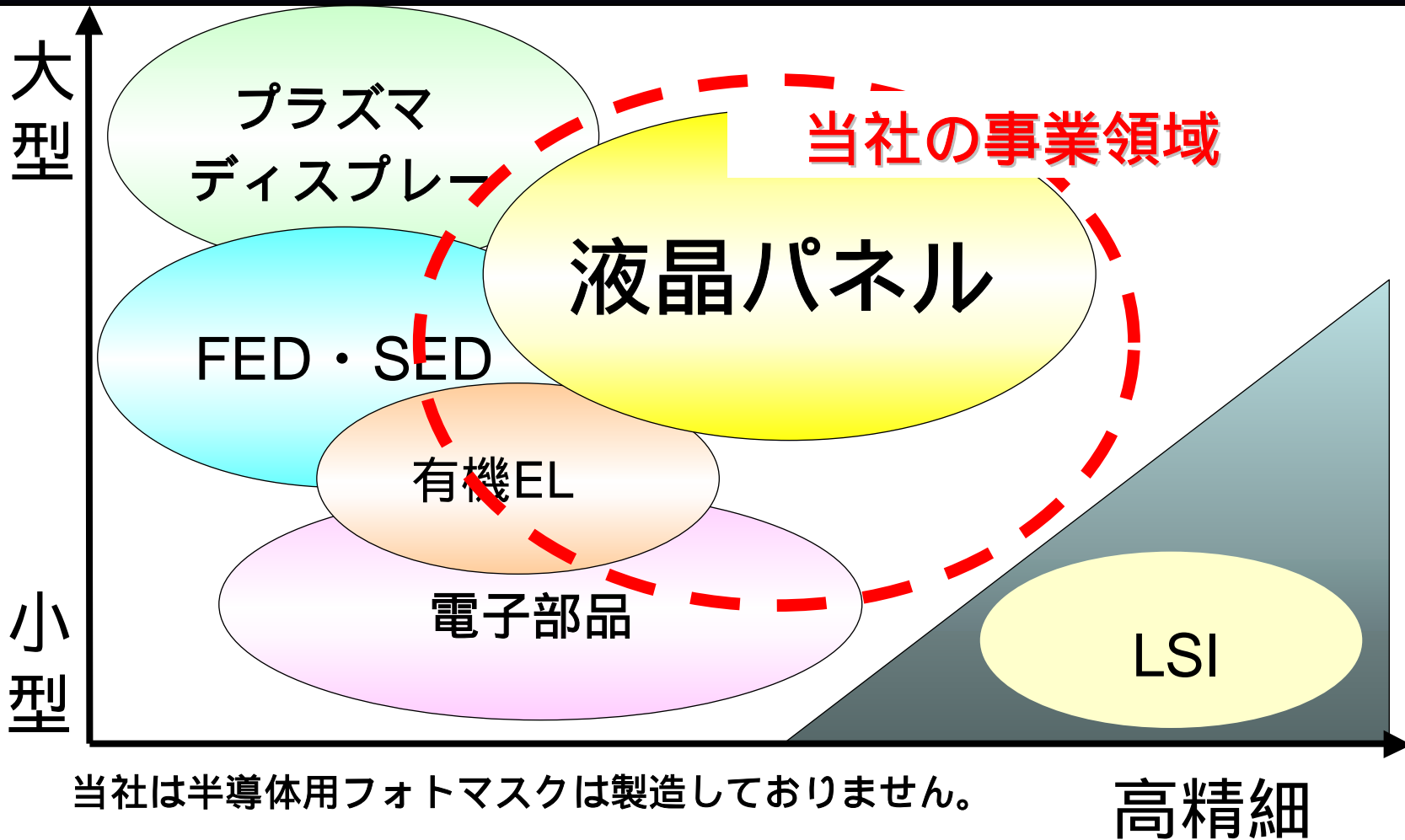


大型総合フォトマスク事業

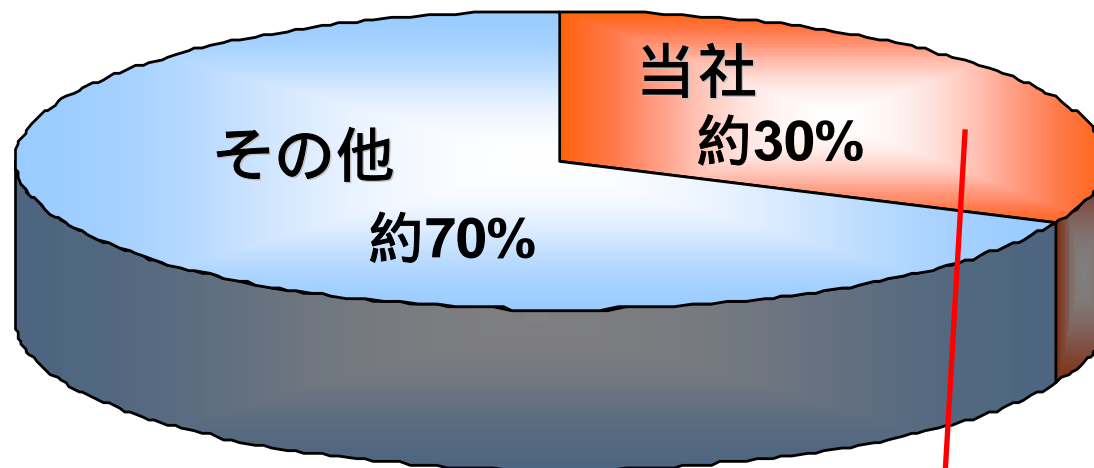
現在の中核事業

事業別売上高構成比
(2007年9月期上半期)

当社フォトマスクの事業領域



フォトマスクの市場シェア



**液晶パネル用フォトマスク市場
において大きなシェアを獲得**

(当社調べ)

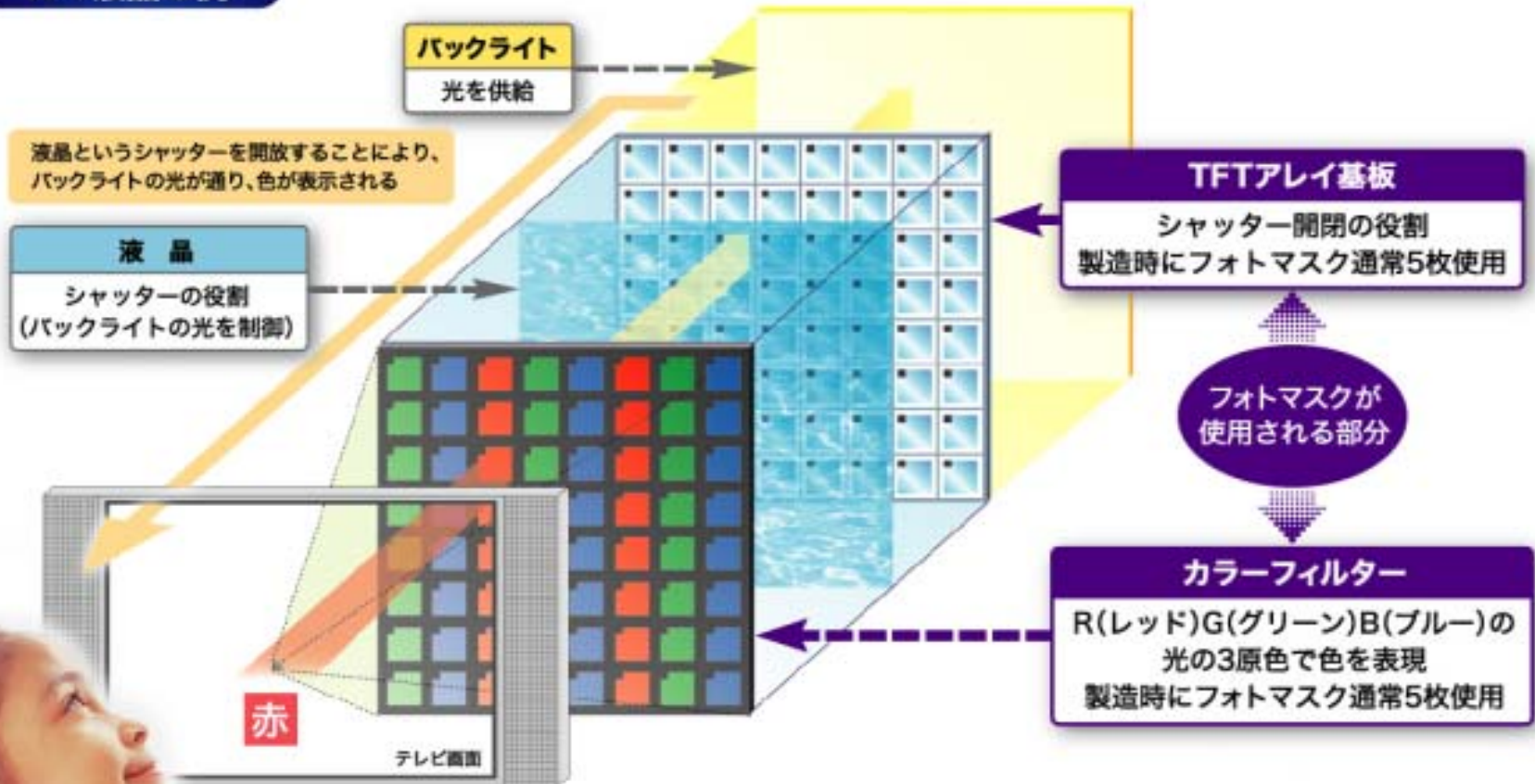
2. フォトマスクとは

フォトマスクが必要な電化製品の例

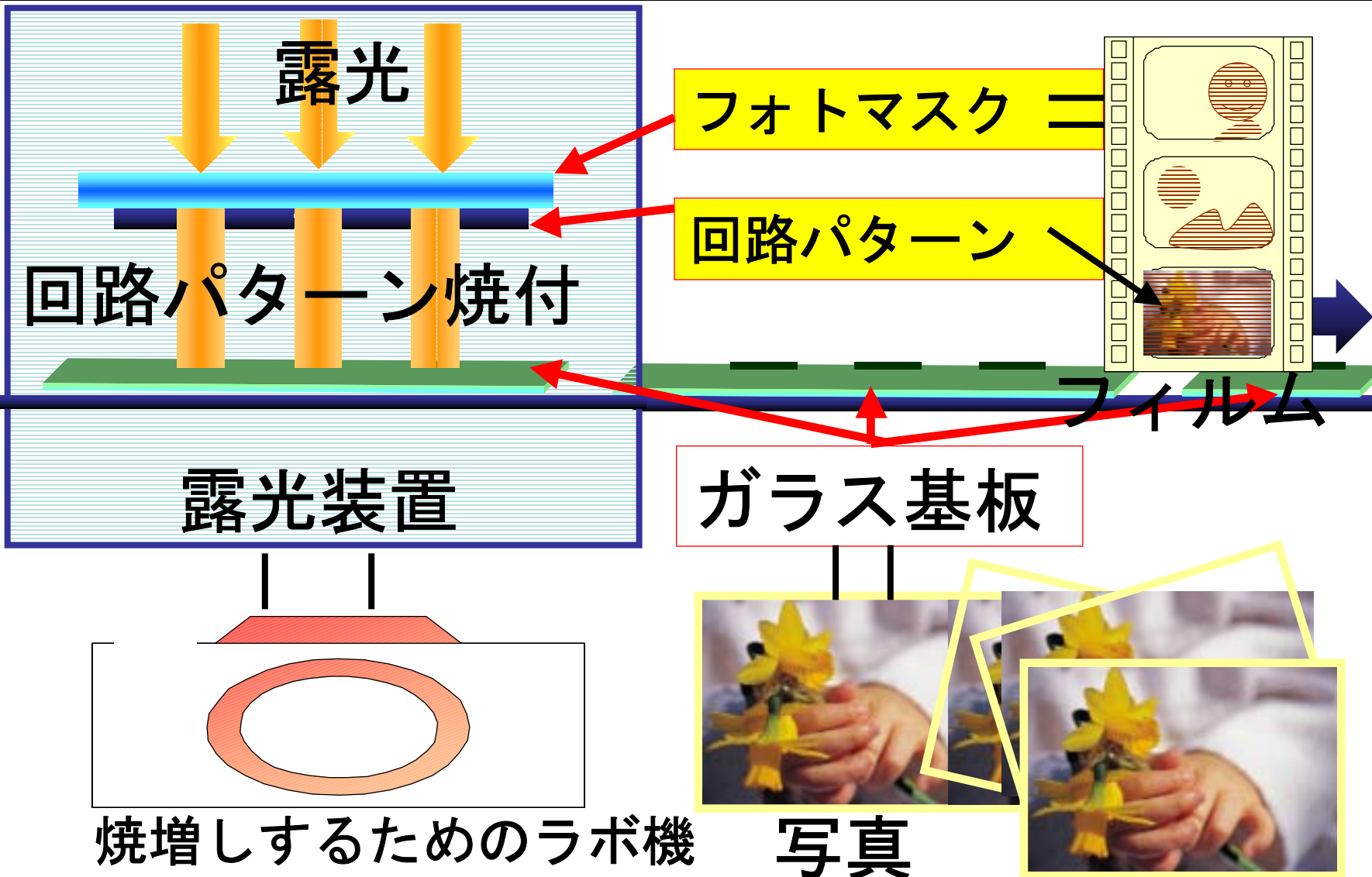


液晶TVとフォトマスクの関係

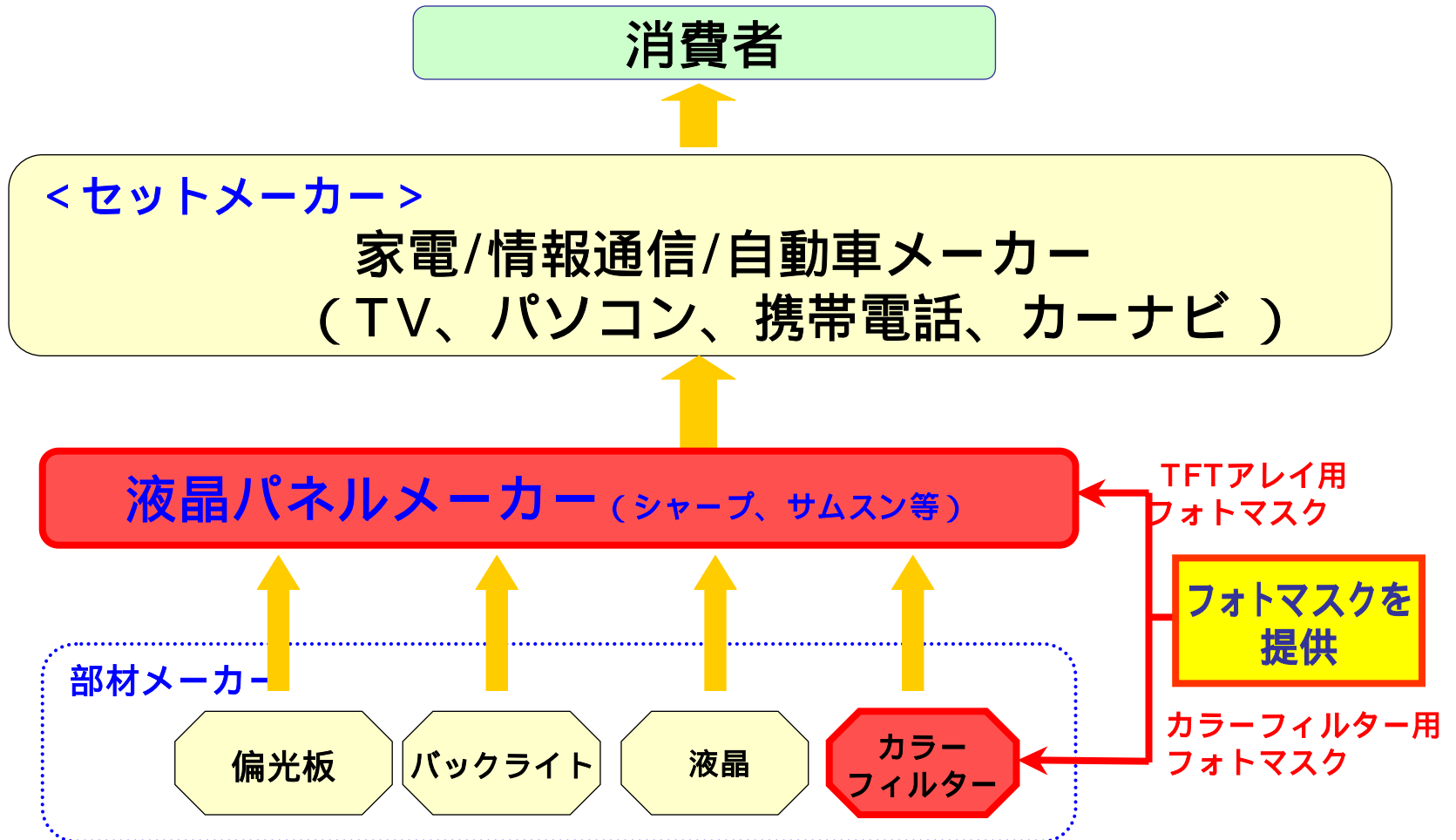
TFT液晶の例



フォトマスクはどのように使われているのか？



～液晶関連業界と当社との関係～ 最終製品はデジタル家電

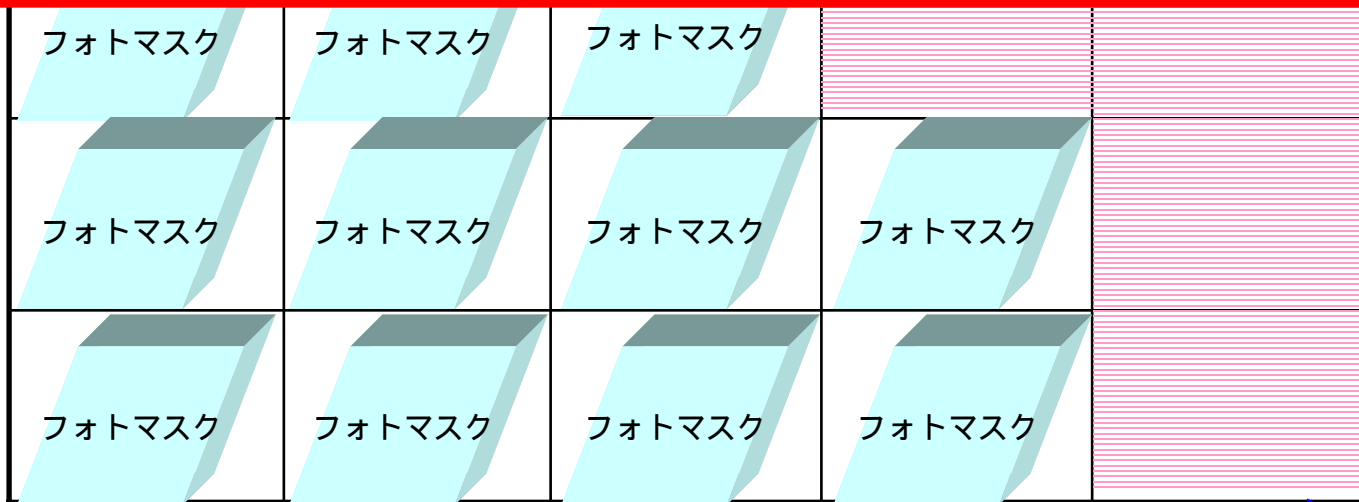


フォトマスクの潜在需要

新機種
開発の増加

潜在需要

新機種開発、製造ラインが増える
フォトマスクの需要も増える



製造ラインの増加

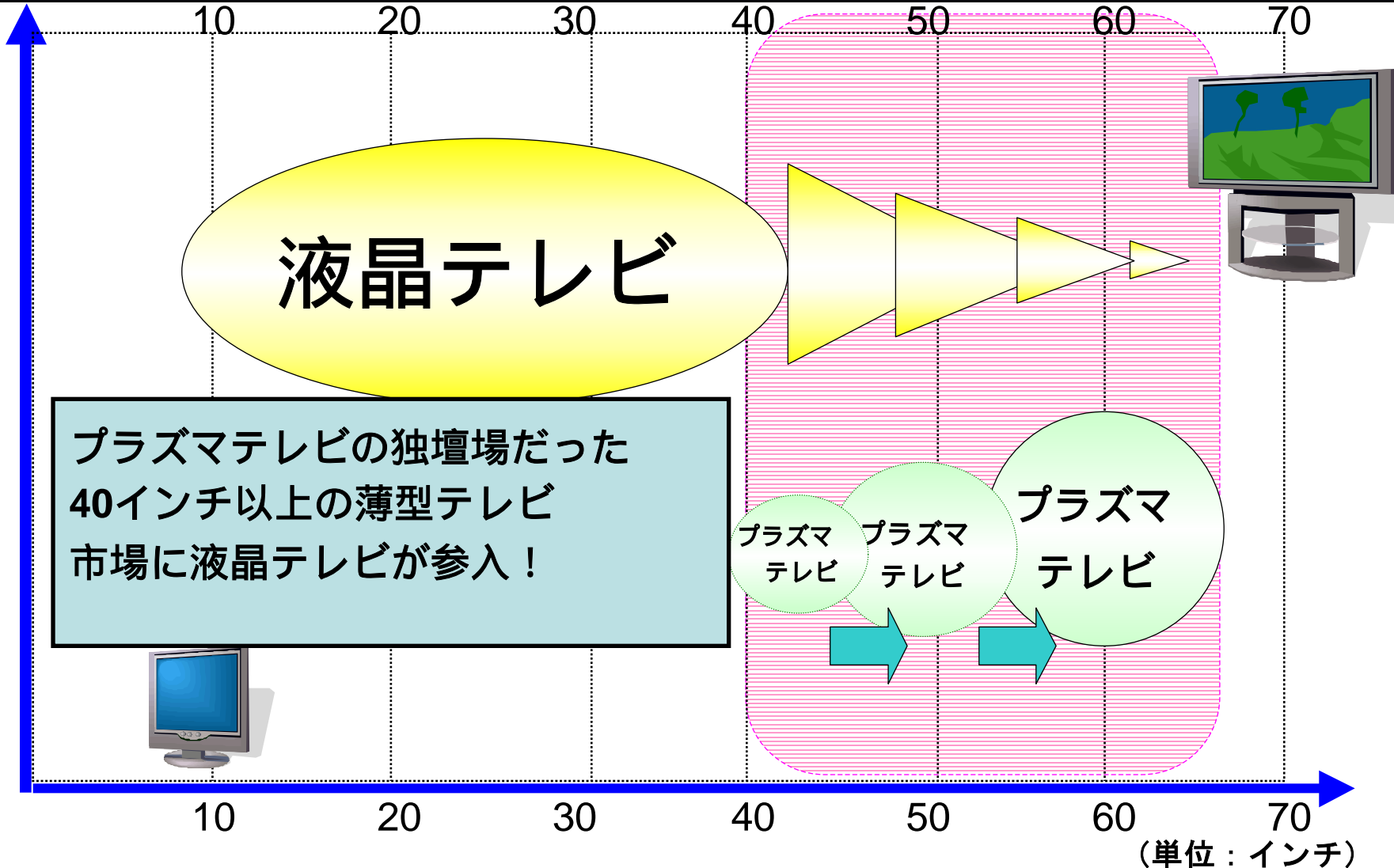
まとめ：フォトマスクとは？



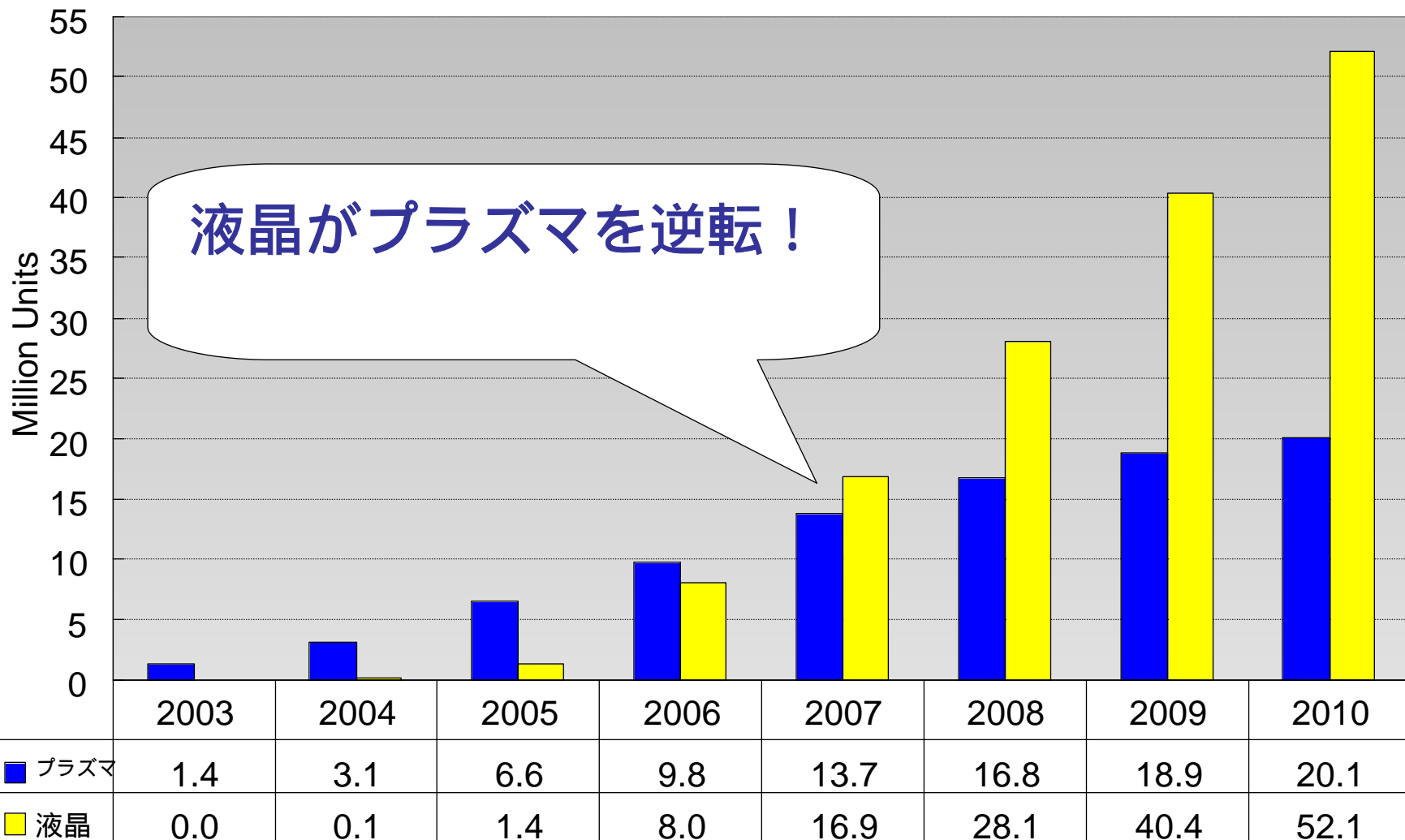
- 液晶ディスプレイが入った製品には必須。
- カラーフィルタとTFTアレイ製造に使用。
- 1機種 of 液晶TVを作るのに10枚必要。
- 液晶TVの中に直接入っているものではありません。
- 量産用だけでなく、新製品の開発や既存製品の改良にもたくさん使用されます。

3. フォトマスクとテレビ市場の 成長性

液晶テレビとプラズマテレビの サイズ展開

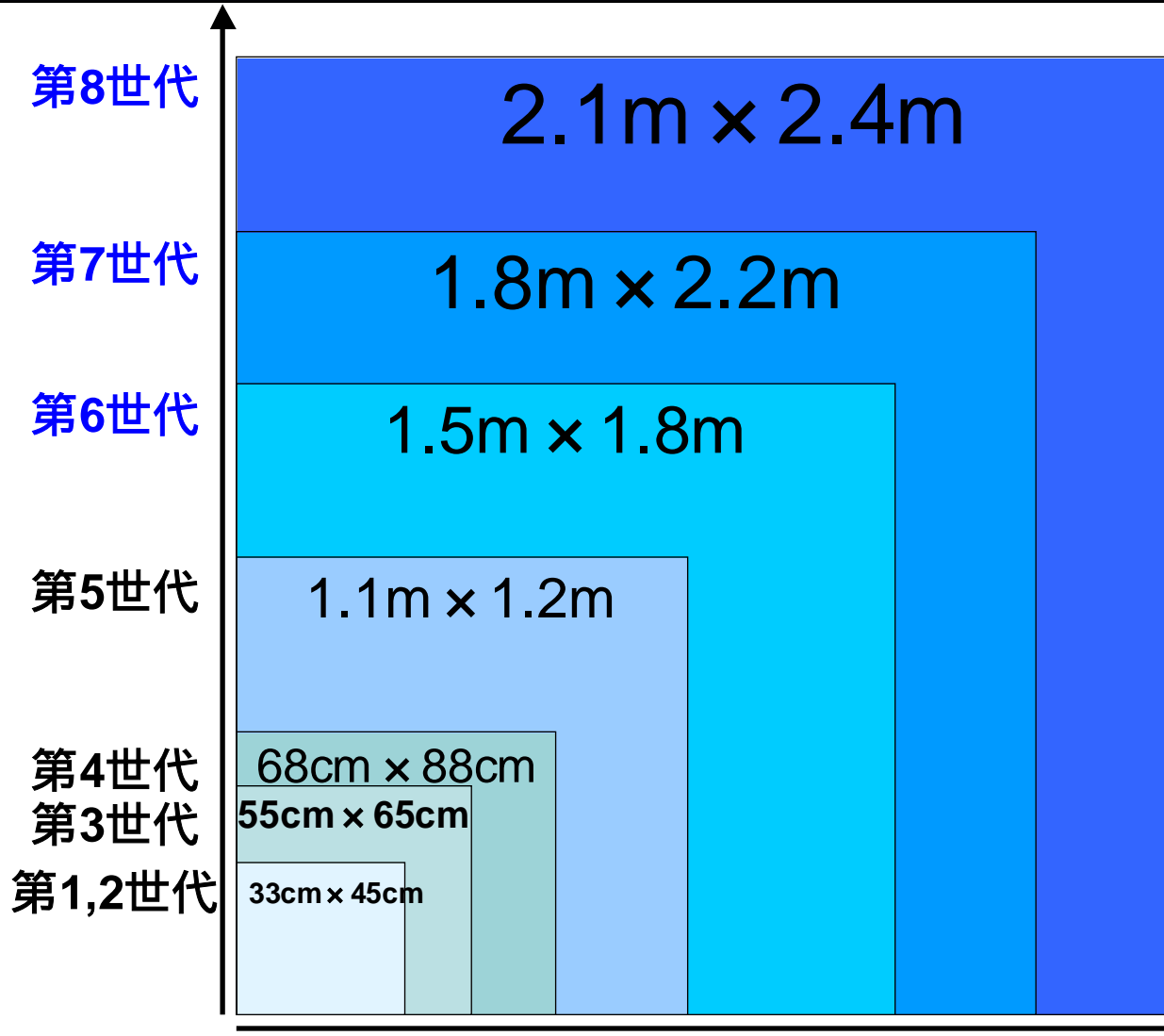


40インチ以上 液晶 vs プラズマの需要予測



出典：Display Search (2007.01)

大型液晶パネル



世代別液晶パネルとTVの面取りの例



第6世代 約1.5m x 1.8m

37インチ	37インチ
37インチ	37インチ
37インチ	37インチ

第5世代 約1.1m x 1.3m

26インチ	26インチ
26インチ	26インチ
26インチ	26インチ

第7世代 約1.8m x 2.2m

46インチ	46インチ
46インチ	46インチ
46インチ	46インチ

第8世代 約2.1m x 2.4m

52インチ	52インチ
52インチ	52インチ
52インチ	52インチ

大型液晶パネル 製造ライン増設計画



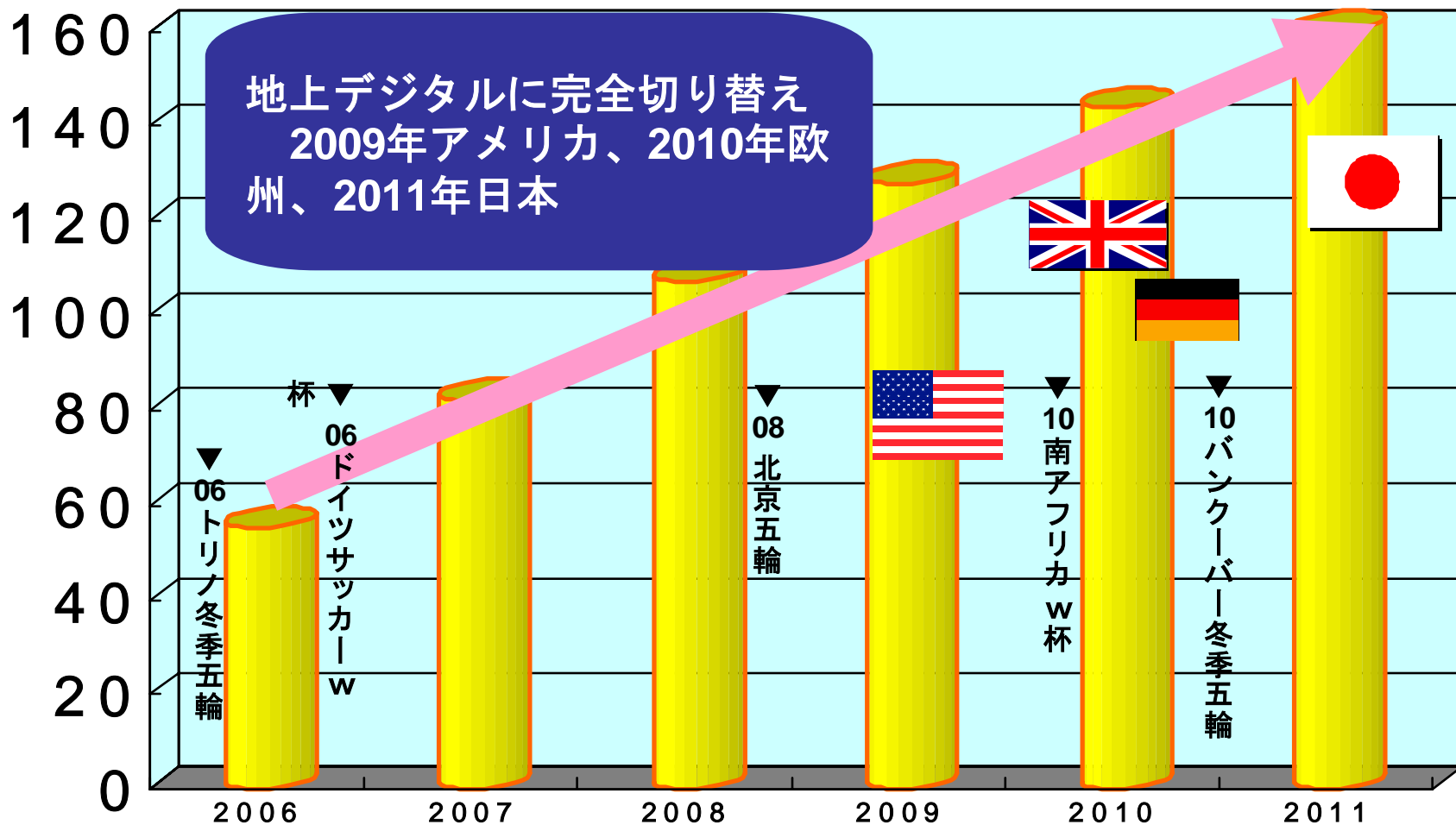
7.5世代、8世代、9世代、10世代の
製造ラインが立ち上がる予定



液晶テレビの需要予測



出荷台数（単位：百万台）



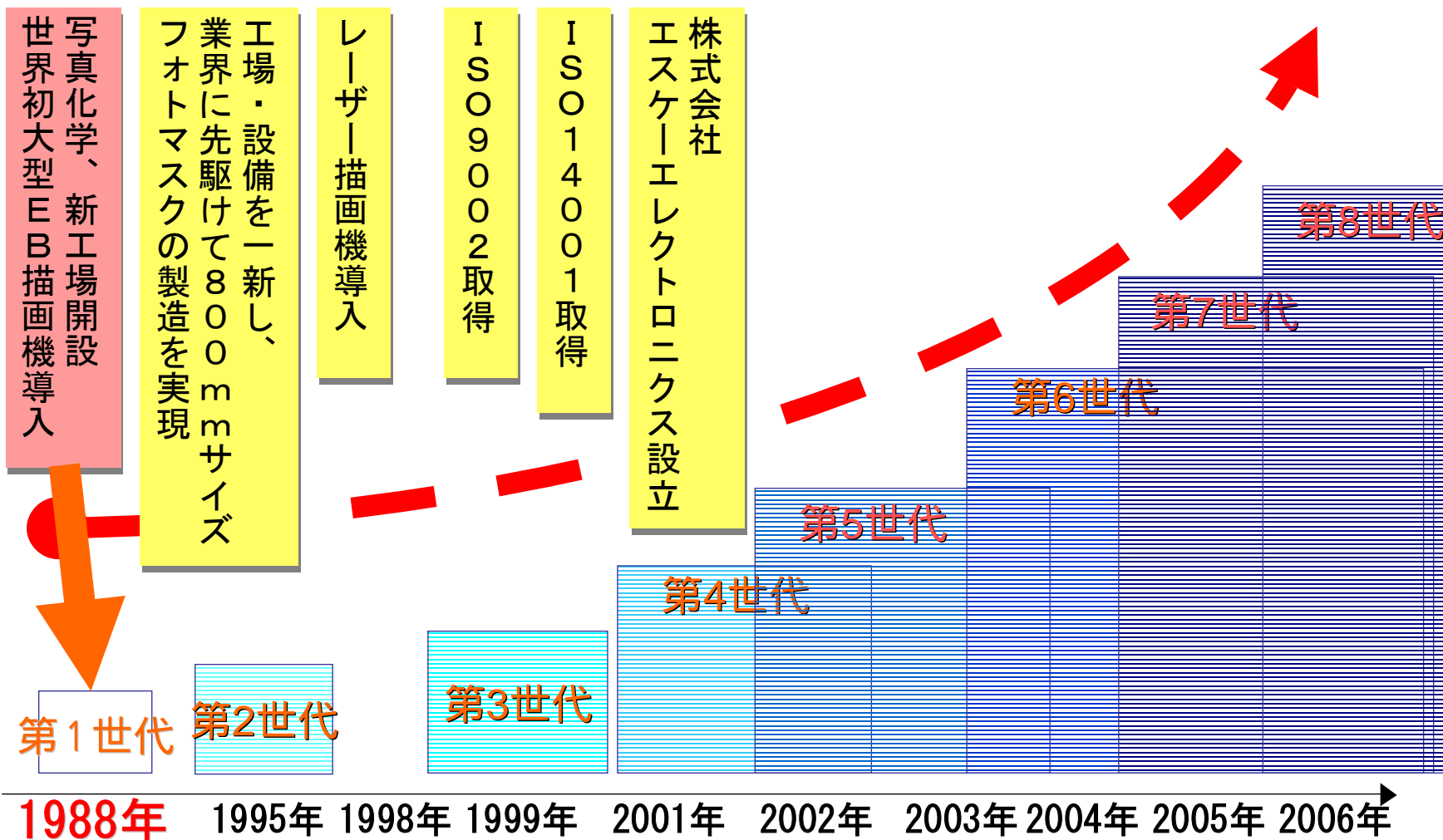
地上デジタルに完全切り替え
2009年アメリカ、2010年欧
州、2011年日本

出典：Display Search（2007.01）

4. 当社の強み

当社の強み

①パイオニア



当社の強み

② 様々なフォトマスクへの展開



当社の強み

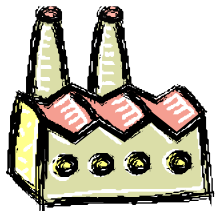
③業界最高のフォトマスクを生産



商品力の向上

- 大型化
- 高精細化

1988年本格的
生産開始
久御山現工場



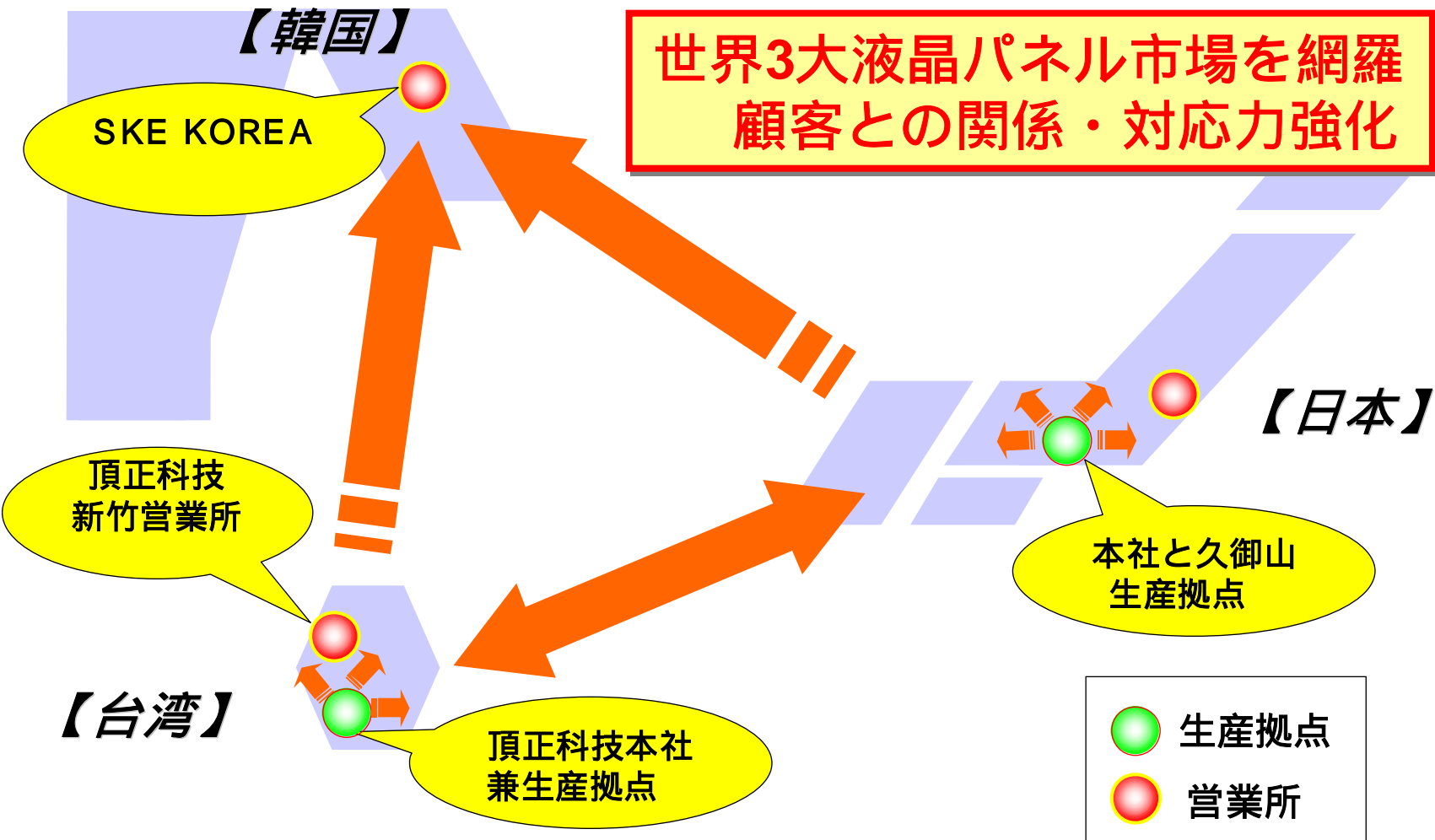
2002年5月台湾に子会社
頂正科技を設立



久御山新工場
(2005年4月稼動)

当社の強み

④世界の重点市場に拠点を設置



まとめ：当社の強みとは？



大型フォトマスクのパイオニア

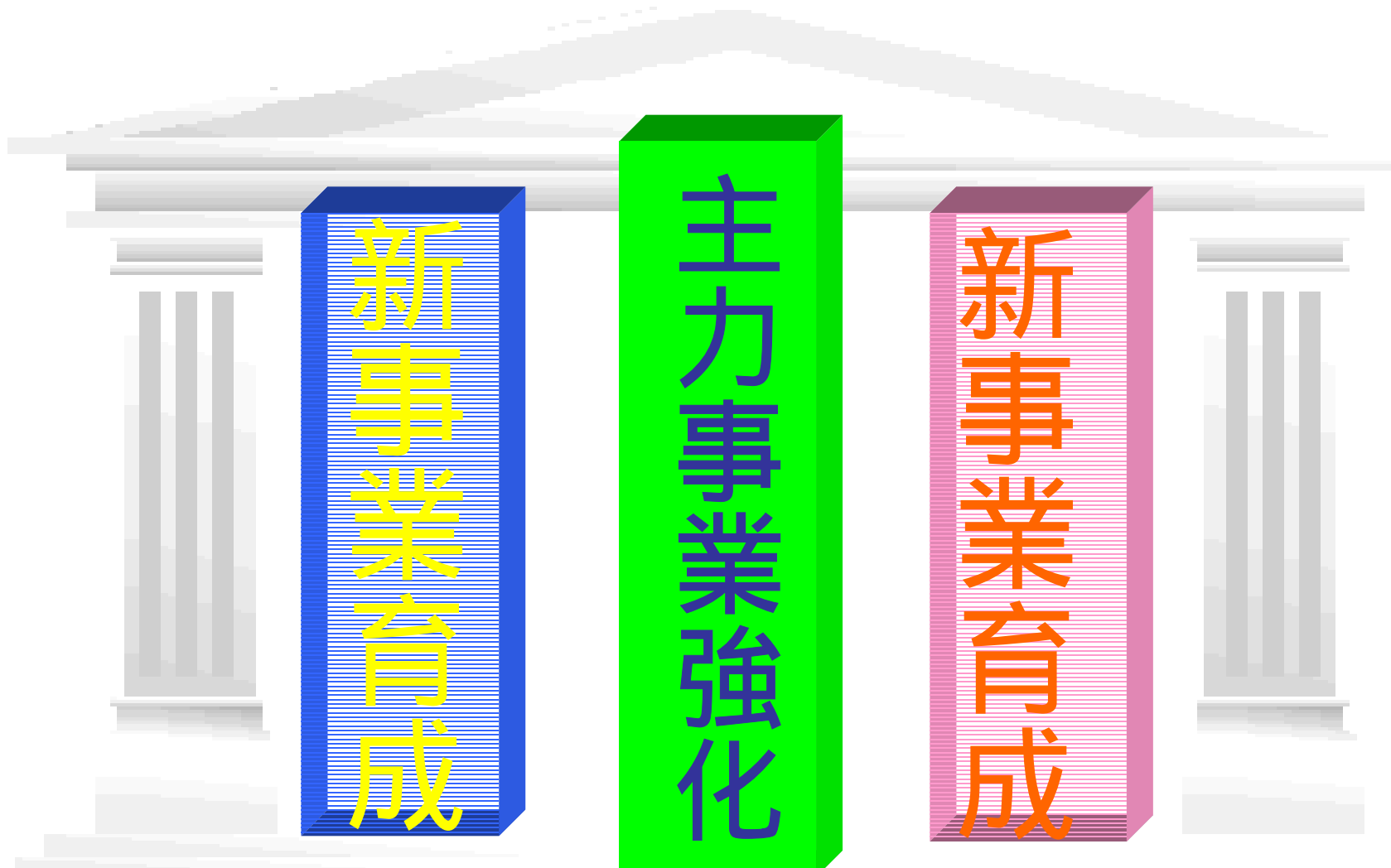
さまざまなフォトマスクへの展開

業界最高のフォトマスクを生産

世界の重点市場に拠点を設置

5. 当社の成長戦略

成長戦略イメージ図



新事業育成

主力事業強化

新事業育成

主力事業強化



様々なフォトマスクの生産・販売を拡大



新事業について



「経営の方向性」

ファインテクノロジーをベースに
エレクトロニクス産業の一翼を担う
社会的存在価値のある技術開発型企业を目指す

当社の強みを生かす！

・パイオニア精神

・微細加工技術

・スピード経営

6. 今期の業績予想

2007年9月期連結決算概要 (計画)

(単位:百万円)

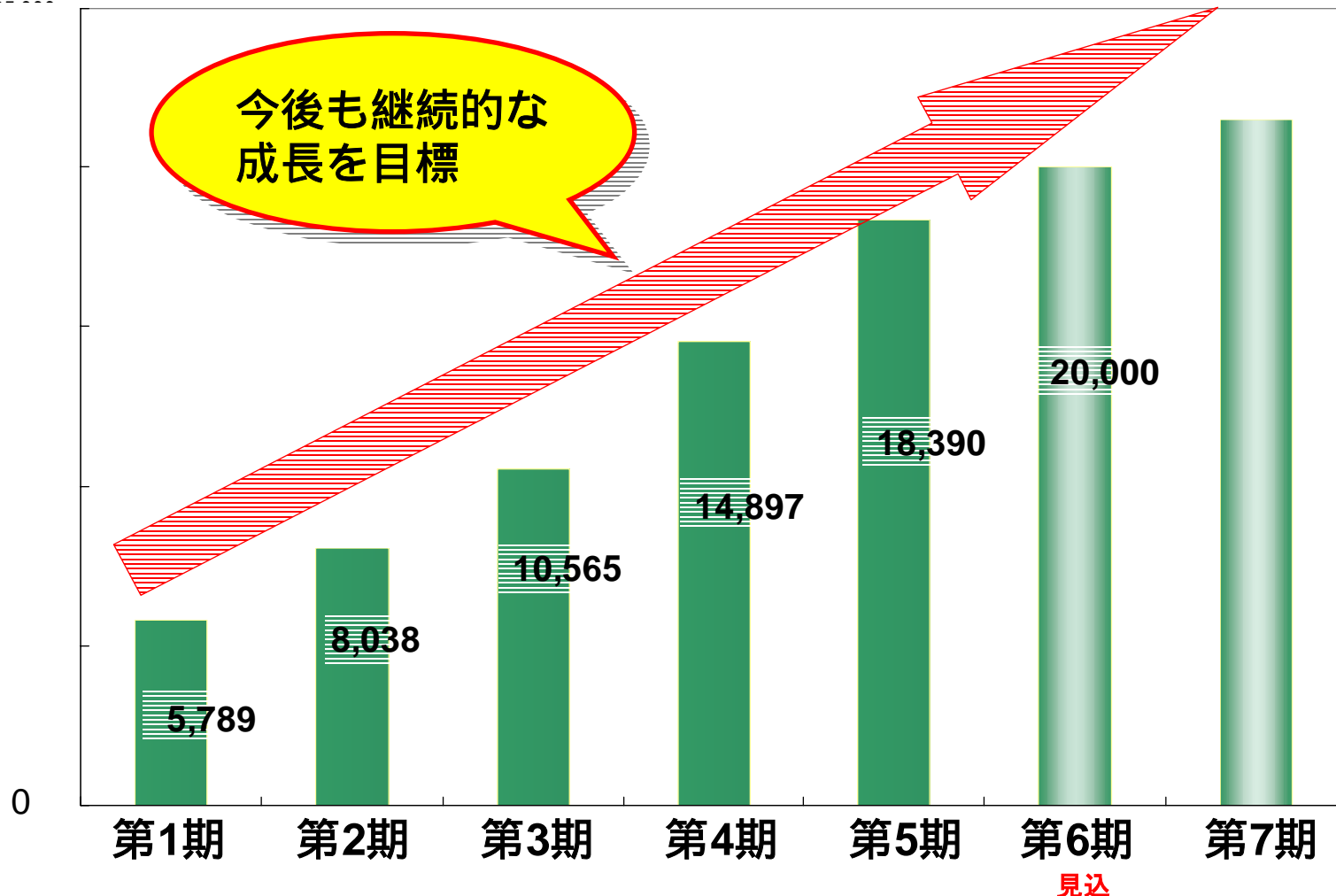
	2006年9月期 決算	2007年9月期 決算(計画)	前期比
売上高	18,390	20,000	+8.8%
売上総利益	3,985	3,180	-20.2%
営業利益	1,859	630	-66.1%
経常利益	1,878	650	-65.4%
当期純利益	1,030	350	-66.0%

今後の連結売上高イメージ



(単位：百万円)

売上高



7. I R活動、利益配分、分割方針

株主様に対して



広報IR方針：『正確に！誠実に！』

- 情報を正しく、わかりやすく、タイムリーに
- 株主様との対話を通じて地道にまじめに

配当方針：業績連動型配当の実施

株主様に対して



分割方針・・・個人の方にも買いやすく、
取引単価を下げる

分割実績	2003年 6月	1 : 5
	2004年11月	1 : 3

次回予定は現在のところ未定です。

8. 最近話題のニュースについて

カラーフィルター(CF)パネル生産における インクジェット方式について



フォトマスクに取って替わると言われるインクジェット方式。フォトマスクは本当に不要なのでしょうか？

当社の現状の見解

将来的には、インクジェット技術が確立されていくと思うが、現状の当社への影響は、限定的なものとする。

償却が進んでいる既存のCF生産ラインについて、インクジェット方式への置き換えの可能性は低い。

新技術の台頭による影響は数年前から想定。

4年前からTF T戦略を進め、着実に売上に占めるTF T用フォトマスクの割合を高めている。

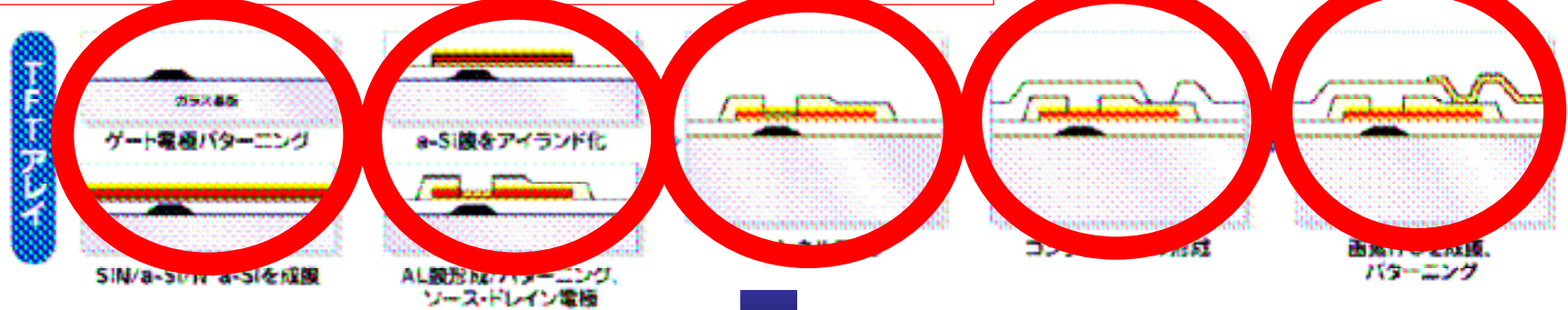
カラーフィルター(CF)パネル生産における インクジェット方式について

現行のフォトリソ技術で、液晶TVを作る場合

カラーフィルター



TFT (現行のインクジェットでは不可能)



フォトマスクは合計10枚必要



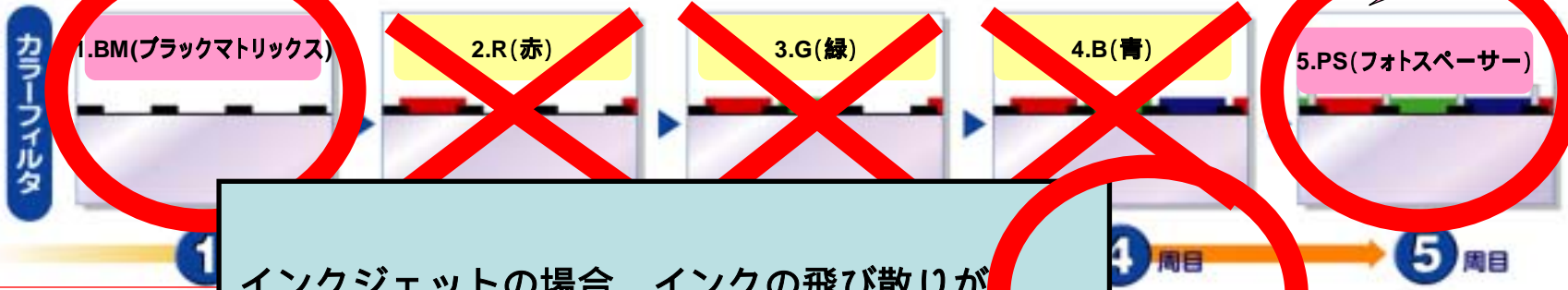
カラーフィルター(CF)パネル生産における インクジェット方式について

液晶TVを作る場合 インクジェット方式になっても・・・

必要

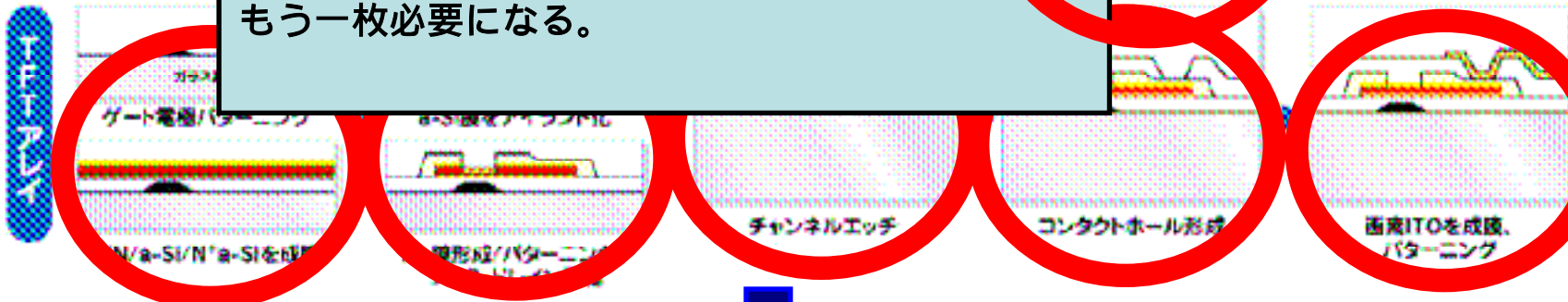
必要

インクジェットによりマスク不要



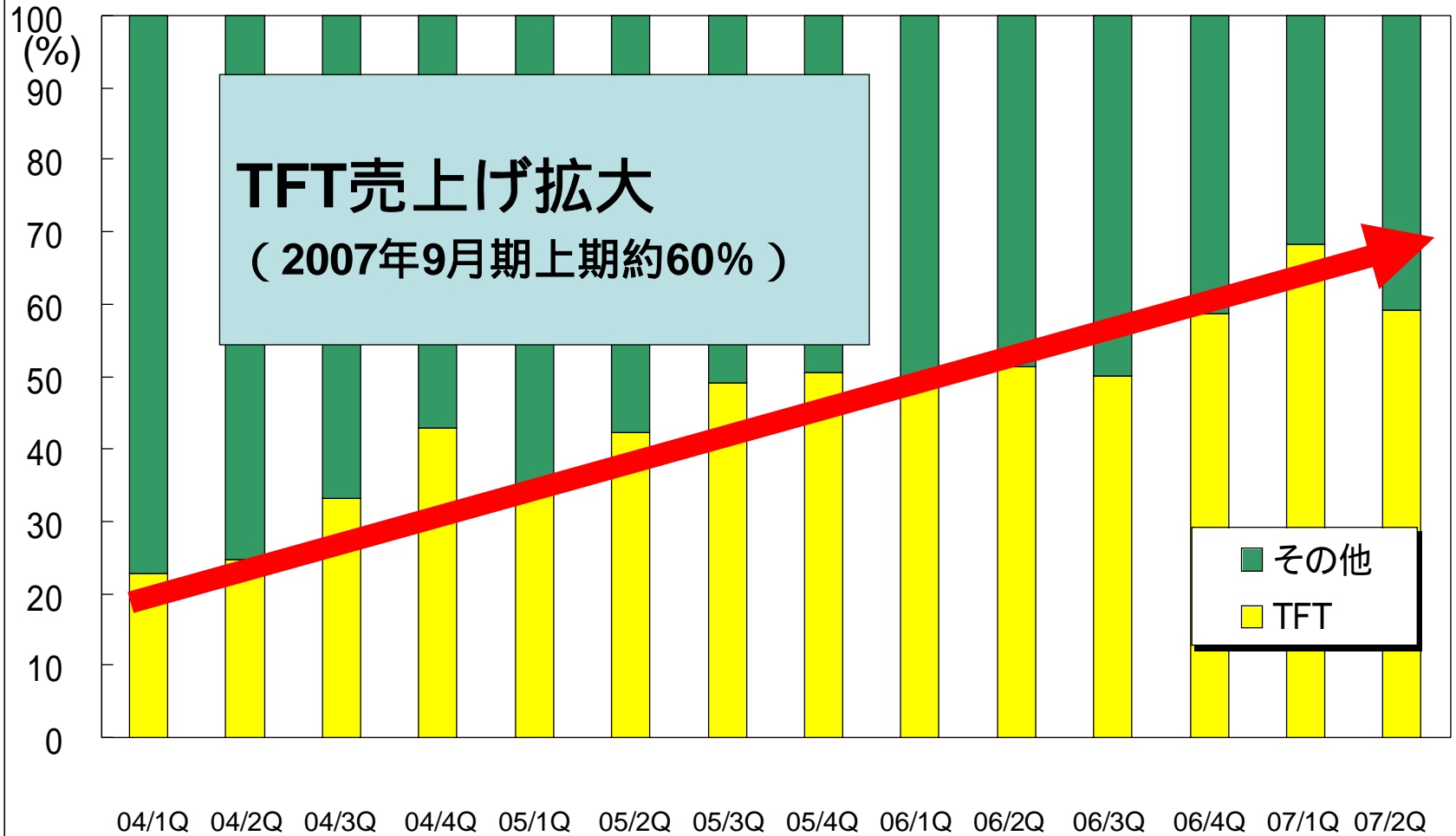
TFT (現行の)

インクジェットの場合、インクの飛び散りがあるため、飛び散りを防ぐ隔壁用のマスクがもう一枚必要になる。



フォトマスクは合計7~8枚は必要

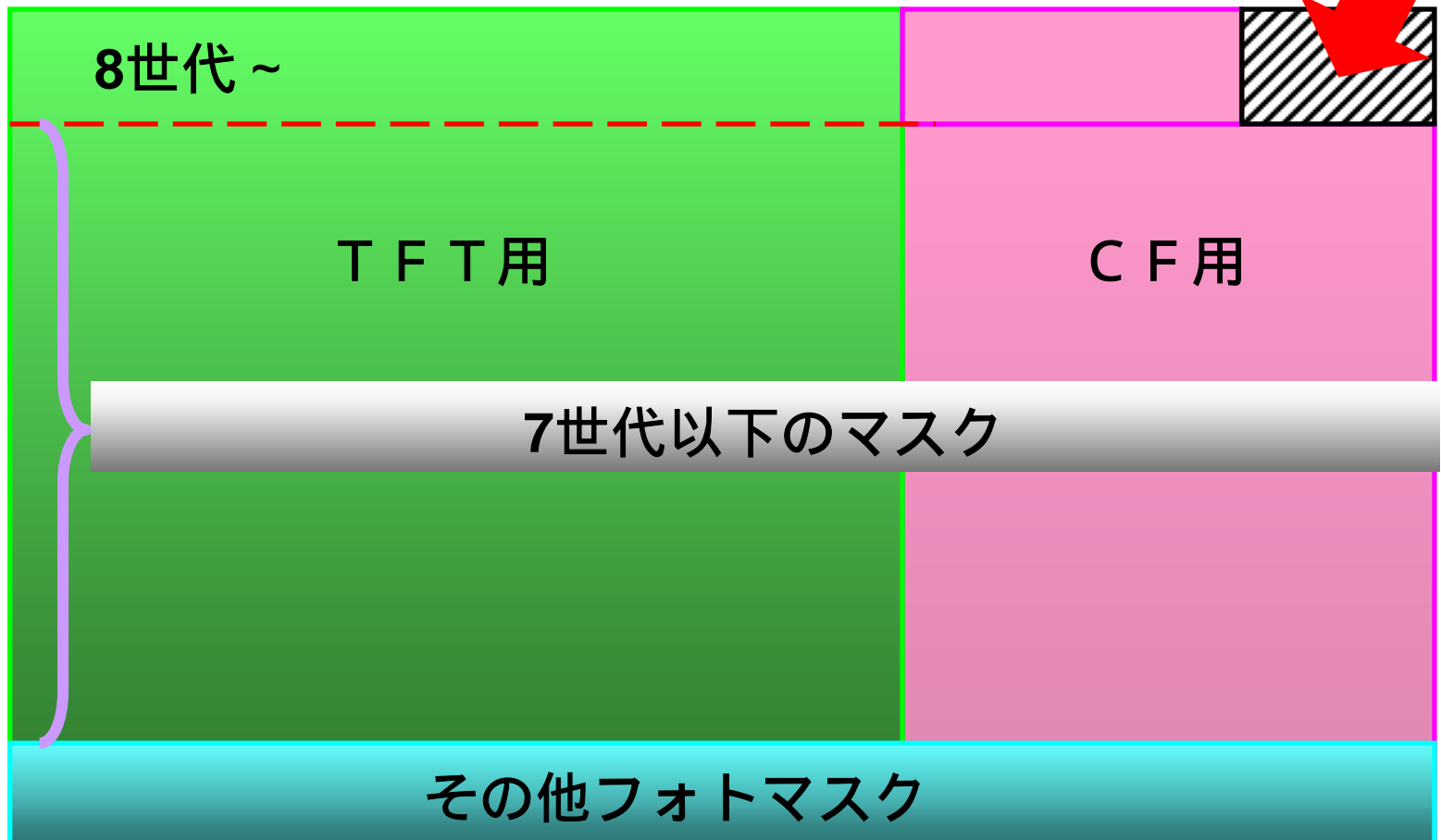
当社フォトマスク売上におけるTFT用 フォトマスクの割合



インクジェット方式による 当社フォトマスク売上への影響



インクジェット技術による当社売上への影響は限定的



当社フォトマスク事業の売上構成イメージ図

ご清聴ありがとうございました。